

2020.8.3 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟社 各位
草津市政記者クラブ加盟社 各位
文部科学記者会加盟社 各位

立命館大学広報課

「Society 5.0」を支える IoT システムとそのセキュリティに特化した研究拠点

立命館大学 IoT セキュリティ研究センターの開設

立命館大学は、8月1日、IoT システムとそのセキュリティ分野に関する研究を推進する「IoT セキュリティ研究センター」をびわこ・くさつキャンパスに設立しましたので、お知らせします。

IoT (Internet of Things) は「Society 5.0」実現の鍵を握る技術の一つに位置付けられ、より良い社会システムを構築するための原動力として、その進展が広く期待されています。今般の新型コロナウイルスの蔓延により、新しい生活様式、新しい働き方を推進する動きが国内外で加速していますが、新しいライフスタイルの実現には、IoT の加速度的な導入と、IoT システムのセキュリティの維持、発展が不可避となります。

IoT システムのセキュリティに関しては、「基本ソフトが多種多様で、どのような技術セキュリティ対策を行うべきかが明確ではない」「家電製品など長期にわたり利活用するものでは機器更新(買替)による最新のセキュリティ対策が十分にできない」「プライバシーを保護しつつデータ利活用を推進するための匿名加工技術や暗号化状態処理技術などの研究開発がまだ途上」など、解決すべき課題が少なくありません。しかしながら、現在は IoT の利活用に関心が集中し、セキュリティの研究に十分なリソースが割かれているとは言えないのが実情です。

こうした状況を踏まえ、本学は、IoT システムとそのセキュリティに特化した研究拠点として、IoT セキュリティ研究センターを設立しました。急速な IoT の進歩発展に呼応する強固なセキュリティ対策を支えるべく、自然科学、人文科学、社会科学の研究者による学際的な研究と産学連携を通じて、「Society 5.0」が目指す超スマート社会の実現に貢献してまいります。

■概要

名称 : 立命館大学 IoT セキュリティ研究センター

(英文名称 Research Center for IoT Security, Ritsumeikan University)

開設日 : 2020年8月1日

設置場所 : 滋賀県草津市野路東1丁目1-1 立命館大学びわこ・くさつキャンパス内

所属研究者 : 16名 (別紙参照)

主な研究テーマ:

- ・産業分野に応じた IoT セキュリティ技術における基準の検討と実装技術の研究開発
- ・IoT セキュリティ分野の最新のセキュリティに対応する法務的判断ガイドラインの構築
- ・IoT セキュリティに対応した技術者養成のためのスキルセット定義と育成プログラムの作成

■上原哲太郎・IoT セキュリティ研究センター長のコメント

IoT は次世代の社会基盤の中心的役割を担う技術であり、そのセキュリティの確保は極めて重要な研究課題であります。本センターには立命館大学の IoT とセキュリティに関わる研究者の力が集結しております。産業界と連携を深めながら、研究成果の社会実装に向けて力強く活動してまいります。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:立岩

TEL. 075-813-8300 FAX:075-813-8147

<http://www.ritsumeikan.ac.jp/>

別紙

ご参考：立命館大学 IoT セキュリティ研究センターについて

1. 組織(研究員一覧)

氏名	所属学部・職名	現在の専門(主たる役割分担)
上原 哲太郎 (センター長)	情報理工学部・教授	システムセキュリティ(CPSF 準拠のセキュリティ基準の策定、教育プログラム策定)
國枝 義敏	情報理工学部・教授	プログラミング言語、HPC(形式仕様によるセキュアプログラミング)
西尾 信彦	情報理工学部・教授	ユビキタスネットワーク(ユビキタスネットワークの環境整備)
野口 拓	情報理工学部・教授	サイバーフィジカルシステム(アドホックネットワーク)
前田 忠彦	情報理工学部・教授	無線通信(IoT 向け生体認証)
毛利 公一	情報理工学部・教授	システムソフトウェア(組み込み向けセキュア OS)
佐竹 賢治	情報理工学部・准教授	暗号理論(ブロックチェーン)
西村 俊和	情報理工学部・准教授	ネットワーク(アドホックネットワーク)
山本 寛	情報理工学部・准教授	サイバーフィジカルシステム(ブロックチェーン)
瀧本 栄二	情報理工学部・助教	ネットワーク(ブロックチェーン)
鄭 俊俊	情報理工学部・助教	ソフトウェア信頼性(ソフトウェア信頼性)
藤野 毅	理工学部・教授	ハードウェアセキュリティ(PUF による認証基盤の IoT 応用研究)
稲葉 光行	政策科学部・教授	法情報学、認知科学(テキストマイニング、データマイニング)
宮脇 正晴	法学部・教授	知的財産法(IoT セキュリティに関わる知的財産権の検証)
徳田 昭雄	経営学部・教授	社会システム工学、経営学、標準化研究(規格の国際標準化への検証)
依田 祐一	経営学部・准教授	経営学、情報システム、ビジネスシステム(基準の施行による変革した情報システムのマネジメントへの影響検証)

2. 特色

(1) 実績ある研究者の参画

セキュリティとは社会と密接な関係にある実学的な研究分野であり、特に IoT セキュリティの確保は次世代スマート社会における安全安心確保の前提となる社会的要請である。本研究センターの研究員は既に多くの産学官連携研究実績を有しており、その実績を基に、企業との緊密な連携を軸にし、研究成果の迅速な社会実装を図る。

(2) 企業コンソーシアムを通じた展開

センター開設後、可及的速やかに企業コンソーシアムを設立し、同コンソーシアムを通じた研究を推進する。多くの企業に産業界の垣根を越えて参画を募り、活発な活動を展開する。

(3) 若手研究者の育成

本研究センターに若手研究者を研究員として受け入れ、研究に参画させるとともに、セキュリティ教育プログラムの講師としても登用する。IoT セキュリティに関するアカデミックなバックグラウンドを有しつつ、社会実装を牽引する IoT セキュリティ技術開発者リーダーへと育成する。

以上